

3 章 学習のまとめ

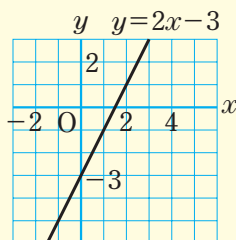
1 次関数

▶ p.74

y が x の関数で、 y が x の 1 次式、すなわち、 $y = ax + b$ で表されるとき、 y は x の **1 次関数** であるという。比例は 1 次関数の特別な場合である。

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

1 次関数 $y = 2x - 3$ のグラフは、傾きが **2**，切片が **-3** の直線である。



変化の割合

▶ p.76

$$(\text{変化の割合}) = \frac{(\text{y の増加量})}{(\text{x の増加量})}$$

1 次関数の変化の割合

▶ p.76

1 次関数 $y = ax + b$ では、 x がどの値からどれだけ増加しても、変化の割合は **一定** で、 x の係数 **a** に等しい。

2 元 1 次方程式のグラフ

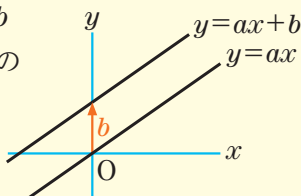
▶ p.90

2 元 1 次方程式 $3x + y = 5$ を y について解くと、 $y = \text{-}3x + 5$ となるから、2 元 1 次方程式 $3x + y = 5$ のグラフは、傾きが **-3**，切片が **5** の直線である。

1 次関数のグラフ

▶ p.79

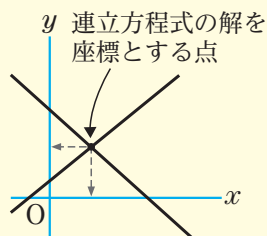
1 次関数 $y = ax + b$ のグラフは、 $y = ax$ のグラフを y 軸の正の方向に **b** だけ平行移動した直線である。



連立方程式の解とグラフの交点

▶ p.94

x ， y についての連立方程式の解は、それぞれの方程式のグラフの **交点** の x 座標、 y 座標の組である。



3 章で見つけた **!** をふり返って、学習感想をまとめてみましょう。

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと など

1 次関数 $y = ax + b$ のグラフは直線であり、 a の値は直線の傾きぐあいを表し、 b の値はグラフと y 軸との交点の y 座標を表していることがわかった。

身のまわりの問題で 1 次関数とみなせることががあり、目的に応じて、表、式、グラフを適切に使って解決するとよいと思った。

